

研究テーマ	鑑賞活動を通して、見方や感じ方を深め、表現力を高める指導の工夫 －中学 2 年生「作品紹介プロジェクト～みんなに伝える 1 冊の本～」の実践を通して－
-------	--

境町立境第二中学校 教諭 小俣裕美

I 研究テーマについて

学習指導要領では、豊かに感じる力を育成するため、表現及び鑑賞の各活動において、共通に働く資質や能力が〔共通事項〕として新設された。また、創造性を育成するためには、対象を表面的な見方や感じ方だけでなく幅広く見つめることができるように、豊かに感じ取る力を身に付けることが必要である。そこで、本研究では、作品の鑑賞を通して、他者の表現や思いを感じたり、自分のアイデアや作品に生かしたりすることで、更に見方や感じ方を深めることにつながると考えた。そして、どのように表現したいか自分なりのイメージをしっかりとちながら活動していくことで表現力を高められると考え、本テーマを設定した。

II 研究の実際

1 題材名 作品紹介プロジェクト～みんなに伝える 1 冊の本～

2 題材の目標

伝達デザインに関心を持ち、感性や造形感覚などを豊かに働かせて、相手に伝えることを意識した表現の構想を練り、印象深く伝達するための効果的な方法や技法を工夫するとともに、作品や作者の特徴や創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。

3 題材について

(1) 生徒の実態 第 2 学年 平成 27 年 1 月実施（調査人数 59 名）

①美術の作品制作過程で特に 好きだ と思うところは何ですか。（複数回答あり）			
・実際の作品作り	36 名	・アイデアを考えるとこ	13 名
・デザインや技法を考えるとこ	12 名	・完成した作品のよさをみつけるとこ	3 名
②美術の作品制作過程で特に 苦手だ と思うところは何ですか。			
・アイデアを考えるとこ	21 名	・実際の作品作り	17 名
・完成した作品のよさをみつけるとこ	12 名	・デザインや技法を考えるとこ	8 名
・その他	1 名		
③あなたが美術作品を鑑賞するとき何に注目しますか。（複数回答）			
・色やデザイン	37 名	・作品の主題(モチーフ、何が描かれているか)	20 名
・技法のうまさ	9 名	・作者の特徴や歴史的背景	4 名

第 2 学年の生徒は美術に対して積極的であり、関心が高い生徒が多い。グループ単位で学習することが日常的に行われており、意見や感想も言い合える関係である。アンケートの結果によると、美術が苦手と答えた生徒は少数にとどまっており、好きな生徒は全体の 9 割を超えるほどである。しかし、作品制作過程で特に苦手だと思うところという質問では、アイデアを練る段階が一番多く、実際の作品作りは好きだがつまずきも多いという結果になった。

制作に合わせて、段階的にアイデアを整理したり、アイデアを練るのが苦手な生徒には、グループでアイデアを出し合えるワークシートの工夫をしたり、中間発表で全員の作品を見て新しい視点を与える機会を設定したりした。このような相互鑑賞を繰り返す中で、鑑賞した作品からのヒントを自分の作品に生かし、より積極的な制作につなげていきたい。

(2) 題材観

本題材は、国内外の有名作家の作品鑑賞を通し、自分が感じ学んだことを相手に伝えるデザインを考え、表現するものである。伝えることを目的としたデザインを有名作品から学習することで、色彩や作者の心情などに着目させたい。そして、それを相手に伝えるデザインとして表現することでより深く作品と向き合うことができると考えた。また、デザインは印象的に相手に伝えるだけでなく、よりよいコミュニケーションをつくりあげる大切なツールである。みんなで1冊の本を作り上げるという連帯感と、自分の役割を果たすような充実感を味わわせたい。

(3) 指導観

創造的な考え、思考力を育てることが大切であり、その考えを多くの人にわかりやすく伝えるために紹介作品の選択や文字などの色合い、形式を検討する活動を通し、表現力を身に付けさせたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
作家や作品にふれ、感じ取った形や色彩、歴史や心情などに関心をもち、工夫しながら主体的に表現しようとしている。	作品を見つめ、感じ取った形や色彩などの特徴や美しさを基に、発想を豊かにし、創造的な構成を工夫している。	コンピュータの基本操作を用いて、形や色の効果を生かし、創意工夫して表現している。	作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

5 指導と評価の計画(5時間扱い)

時間	学習内容・活動	評価規準【評価方法】
第1次 ①	・有名作家について、様々な角度から調べ自分が興味をもったことをまとめる。	・有名作品に関心をもち、意欲的に作品を調べている。 関【観察、ワークシート】 ・作品から色彩や感情、歴史などを鑑賞しよさを味わっている。 鑑【観察、ワークシート】
第2次 ③	・伝えたい内容をまとめ、見やすいデザインでレイアウトを考える。 ・コンピュータを用いて、レイアウトをもとに制作を行う。	・表現したいイメージをもちながら、相手に伝えやすい構成を整理したり、配色を考えたりしている。 発【観察、作品】 ・コンピュータの特性を生かして、形や色の効果を生かし、創意工夫して表現している。 技【観察、作品】
第3次 ①	・自他の作品を鑑賞し、それぞれの作品のよさを味わう。	・自他の作品を鑑賞し、新たな発見や表現の工夫を感じ取り、共感や認め合いをすることができる。 鑑【観察、ワークシート】

6 指導の実際

(1)第1次の指導 … 美術室において、くじ引きで自分の担当の作家と出会い、本で調べる。

指導内容と留意点 生徒数に合わせて日本国内外の作家を選出した。なるべく教科書や資料集に載っている作家に限らず、日常生活に作品が感じられるものや現代にまで大きな影響を与えたものを優先して選んだ。また、担当については、生徒の希望で決めるのではなく、くじ引きという運まかせな方法をとることにより、芸術作品といつどこでどんなものと出会うかわからないというドラマチックな演出を試みた。その際には、有名な作家でも全部の作品を知っている訳ではないこと、初めての作家ならよりたくさんの作品に出会えるチャンスだということを、生徒に言い聞かせた。

生徒の反応 自分が知っている作家の生徒は、資料集や画集で作品を調べ始める様子が見られた。初めて知った作家の生徒は、どんな作品を描いたのか、どんな人なのか周囲に聞いて興味を示している様子であった。調べ学習では、美術室の画集を中心に出身国や代表作品などをワークシートに沿って調べ、自分の気に入る作品を見つけることができた。しかし、作者の心情や時代背景などに注目する生徒は少なかった。

(2)第2次の指導 … コンピュータ室において、人に伝わりやすいデザインや効果的なレイアウトについて学習し、作家の魅力が伝わるように作品を制作する。

指導内容と留意点 作家の魅力を伝えるためのポイントとして、見出しやキャッチコピー、色合いやレイアウトについて実際のポスターやチラシを用いて理解を深めた。作家については、インターネット上にある多くの作品を見ることによって、作家の作品やその解説など自由に調べ魅力を探した。基本的なコンピュータの使い方は、全体説明の後、必要に応じて確認できるように共有フォルダに保存し操作の手助けとなるようにした。検索の際には、自分の作家の作品であるか情報をしっかりと確認することを留意点とした。

生徒の反応 身近にあるポスターやチラシをもとにレイアウトの説明を行うと、納得の様子も見られた。キャッチコピーについては、国語で学習していたこともあり自分の作品に取り入れる生徒も見られた。コンピュータの操作や検索については、個人差が見られ進度に差が見られたが、近くの生徒同士で教え合いを促すことでお互いに高め合うことができた。作品によっては、生徒に大きな衝撃を与えるものもあったが、様々な表現があることや人によって好みや考え方があるということを知るきっかけになった。作家の作品が張り付けられることややり直しが何度もできることの安心感があるためか、生徒は最後まで意欲的に制作することができた。しかし、作者を知る手だてとして作者自身の姿に関心が高く、作品よりも作者の画像を熱心に検索する姿も少なくはなかった。

(3)第3次の指導 … できた作品を鑑賞し、より多くの作家に出会いよさを見つける。また、自分の絵画作品に生かせる表現を見つけ生かす。

指導内容と留意点 自分の作品を改めて見直すことで、相手に伝えたいことや効果的なデザインとは何かを考え、他の人の作品や作家に出会い共感する作品を見つけ出すことを第一の目的とした。今までの知識で、色合いをどのように選択したのか、字体から自分のイメージを作り出したのかななどを助言した。また、この作品の鑑賞を生かして、3年生で「心の世界を描こう」の中間発表のアドバイスに関連付けた。作品のよさや作家の特徴をもとに制作中の作品に生かせるポイントを探することを第二の目的とした。

生徒の反応 学年全員の作品が一度に並び、初めて見る作品に大きな期待をもっていた。どの生徒も作品に関

心が高く、初めにすべての作品に目を通したあと各々の気に入った作品の前に座り、ワークシートを記入する様子が見られた。友達が制作した作品ということもあり、初めて見る作品や作家でも抵抗が少なく作品に入り込めたようであった。各自気に入った作品や作者を見つけることができ、簡単ながら理由も含めてワークシートに記入できていた。

<第3次の鑑賞の様子>



一斉に作品に目を通す



ワークシート記入①



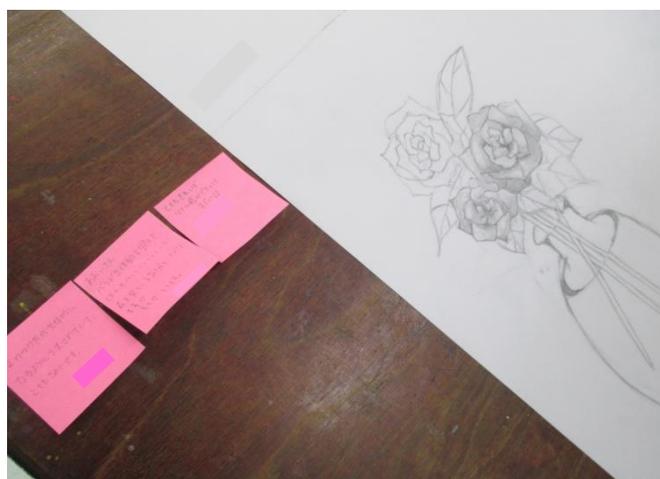
ワークシート記入②



作品の感想を話す様子



アドバイス交換会①

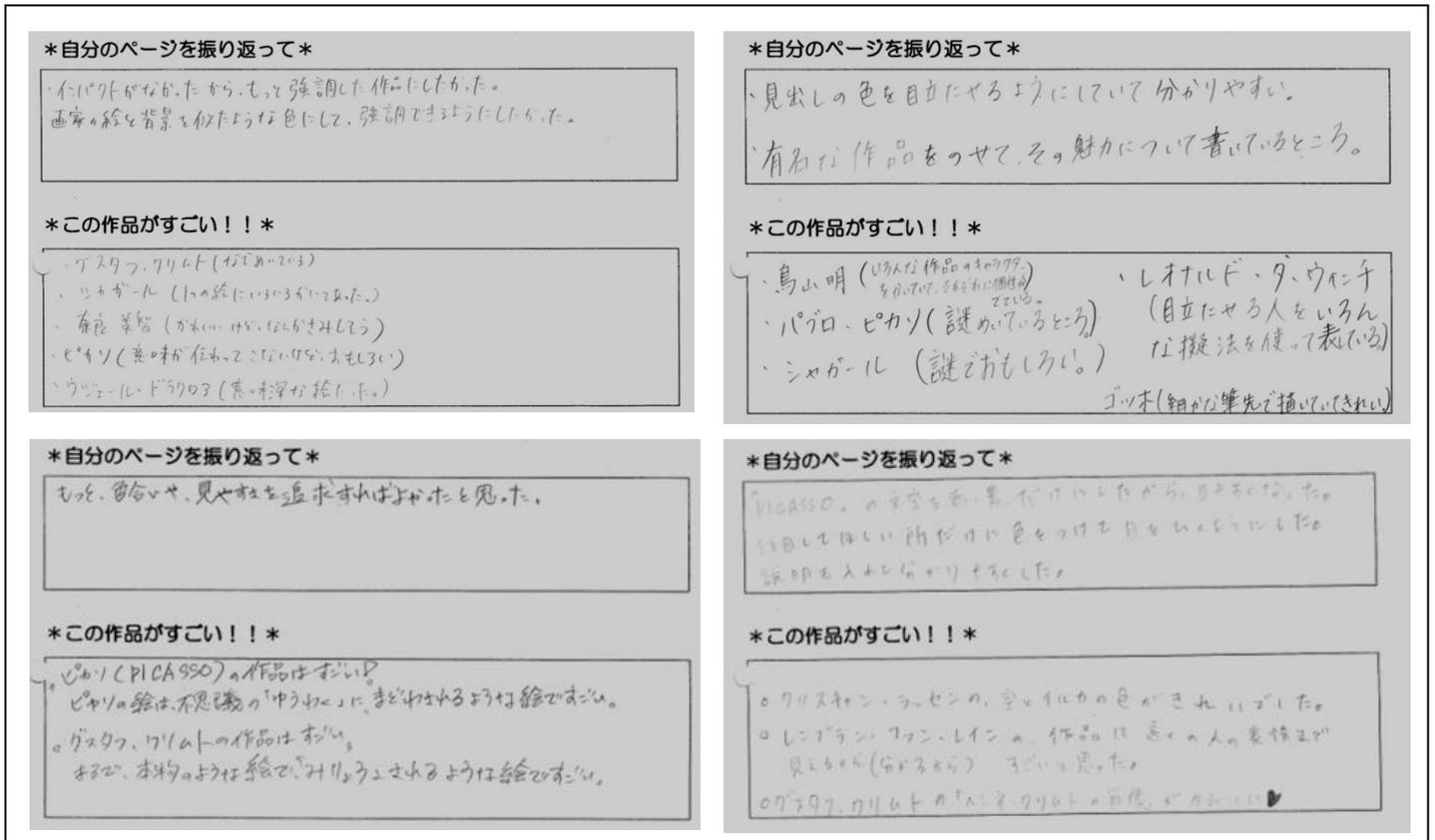


アドバイス交換会②

III 研究の成果と課題

1 研究の成果

(1)生徒のワークシートから

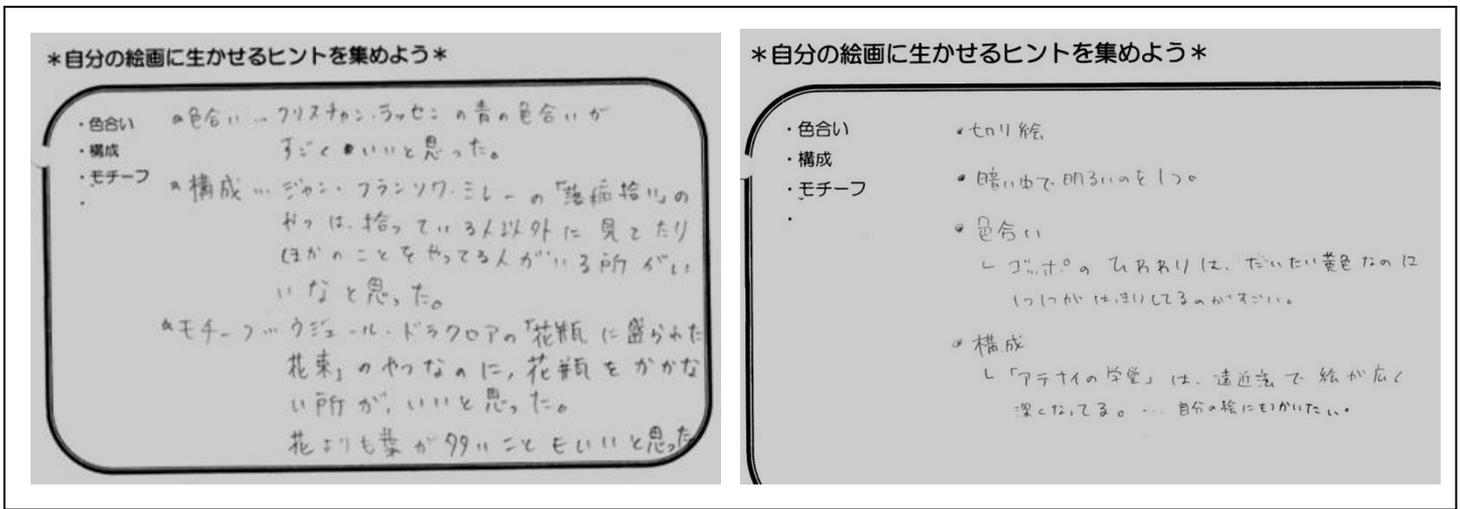


自分のページの振り返りについては、文字の色や大きさにこだわった生徒からは自分の作品に満足したコメントがあったが、多くの生徒からはもっと「強調すればよかった」や「見やすさの工夫をすればよかった」という意見があった。制作中は自分の作品だけに集中していて、完成後、たくさんの作品と並べてみると気付くことがたくさんあるということを生徒が感じてくれていた。この経験を他の制作に生かし、自分の作品を客観的に見直すことに繋げられるように工夫していきたい。

(2)生徒の関心の高い作家と作品に生かすヒント

ワークシート「この作品がすごい！」より集計（複数回答あり、多数の作家のみ理由を抜粋）

- ピカソ 10人 … 謎めいている、惑わされるような引き込まれる魅力、考えさせられる
- ラッセン 8人 … イルカと水の表現がキレイ、本物・CGのような表現がすごい、迫力がある
- シメール 7人 … 意外なものの組み合わせで発想がすごい、モチーフは少ないが目に入る
- ラファエロ 7人 … 遠近法がすごい、1人1人細かく描かれている、数学の教科書
- マティス 6人 … 色合いがきれい、余白が効果的で見やすい、背景の表現が好き
- ゴッホ 6人 … 鮮やかな色遣い、ひまわりは黄色なのに1つ1つがはっきりしている
- ダヴィンチ 6人 … 様々な技法を使っている、細かい表現で特に手の描き方がすごい
- 5人 (ピアズリー、キース、クリムト、スピルバーグ、横尾忠則、宮崎駿、ミケランジェロ)
- 4人 (マグリット)
- 3人 (クレー、エミール・ガレ、モネ、ルドン、レンブラント、シャガール、ミレー、モンドリアン)
- 2人 (カンデンスキー、デ・キリコ、ロックウェル、ミロ、ウォーホル、横山大観、鳥山明)
- 1人 (リキテンスタイン、フェルメール、ティツィアーノ、ティムバートン、ドラクロア、ルノワール、セザンヌ、ディズニー、ブラック、ルーベンス、岡本太郎、狩野永徳、草間弥生、奈良美智、高村光雲、鳥山明)



生徒たちの関心は、大きく偏ることなくそれぞれの感性で作品・作家に意識を向けることができた。また、よさの理由を自分の絵画作品に足りない点に注目して考えている生徒もみられた。

2 今後の課題

作品のデザインに関しては、工夫している生徒ととりあえず完成させたという生徒の作品もあったので自分の見せたいメインをしっかりと決めさせて、制作を始められるような手立てが必要と感じた。また、操作の点でも、画像を大きく引き伸ばした際に割れてしまうなど基本的な知識をもっと丁寧に指導すれば完成度の高い作品が増えたと感じた。

最後の鑑賞した作品から友だちの制作する作品へのアドバイスには、作家の名前があまり出てこなかったもので、もっと生徒の深いところに作品のよさや生かし方を残す鑑賞の工夫をしていきたい。

参考文献

- ・文部科学省「中学校学習指導要領」平成20年3月
- ・文部科学省「中学校学習指導要領解説 美術編」平成20年8月